

会 議 結 果 報 告 書

令和6年12月3日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	令和6年11月13日（水）午後3時～5時
開催場所	志木市役所 大会議室1－1
出席委員	深瀬克委員、新田泰男委員、大木雄平委員、眞保昌弘委員 (計 4人)
欠席委員	上野守嘉委員 (計 1人)
説明員職氏名	生涯学習課 土崎課長、徳留主幹、石川主任 (計 3人)
議 題	(1) 市指定有形民俗文化財「富士講用具及び関係資料」の追加指定について (2) 国指定重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」石造物名称変更について (3) 国指定重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」の災害対応補助金について (4) (仮)文化財センター設置事業の進捗について
結 果	(1) について審議した結果、追加し市指定文化財候補とすることについて、同意が得られた。 (2) について審議した結果、承認された。 (3) について審議した結果、承認された。 (4) について、引き続き進捗経過を確認していく。 (傍聴者 0人)
事務局職員	生涯学習課 土崎課長、徳留主幹、石川主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

（１）市指定有形民俗文化財「富士講用具及び関係資料」の追加指定について
＜説明員＞

資料により説明。

委員）（異議無し）

事務局）今回作成の調書では、裏書きのある保存箱のみ年代を記載している。近しい年代の資料と考えられることから備考に「明治９年か？」と記載することとする。

（２）国指定重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」石造物名称変更について
＜説明員＞

資料により説明。

＜質疑応答等＞

委員）異論無し

委員）既存の刊行物についてはどのように対応するのか？

事務局）今回の石造物の名称変更については、現在策定を行っている「保存活用計画」に記載する予定である。新資料の発見に基づく変更であり、既存の刊行物に正誤表を入れるなど対応はせず、今後新たな刊行物に表記する際は、新名称を使用する。

会長）HPなども今後変更していくことになると思うが、文化庁に変更が認められるのはいつ頃になるのか？

事務局）市の見解を重視すると伺っている。この後の手順は、今回の文化財保護審議会の意見を踏まえ、議事録を添えて県を經由し、文化庁に報告することになる。そのため、正式な変更というのは、文化庁調査官が書類を受理して下さるタイミングになるかと思う。文化庁にも伺いながら、変更受理されたら、所有者・管理者である田子山富士保存会に報告する。

（３）国指定重要有形民俗文化財「志木の田子山富士塚」の災害対応補助金について

＜説明員＞

資料により説明。

＜質疑応答等＞

事務局）補助金の交付金額は、対象事業費１／２である。本件については、緊急的

な対応であったことから、今回文化財保護審議会で意見を徴する前に、会長と相談の上、既に交付を終了した。

会長) 倒木や監視カメラの電線修理など、緊急的な支出が発生したことから、交付について異論は無い。

委員) (異議無し)

(4) (仮) 文化財センター設置事業の進捗について

〈説明員〉

資料により説明

〈質疑応答等〉

事務局) 工事費の積算はこれからで、現状の報告となる。1枚目配置図、2・3枚目平面図、4・5枚目立面図である。

委員) 郷土資料館機能と埋蔵文化財機能が1つの施設になるということか。

事務局) そうである。

会長) 郷土資料館の資料は全て入るのか？

事務局) 入る予定で設計している。

委員) 収蔵スペースの問題はずっと考えて行かなくてはならないと思うが、デジタル化は考えているのか？

事務局) 検討している。しかし、デジタル化したからといって本物を破棄するわけではない。本物の資料毀損のリスクを減らし、活用の可能性を広げることだと考えている。

会長) 今回設計図等を見て、ハード部門は進んでいると思うが、運営等のソフト面はどうか。博物館友の会や、市民ボランティアなどは考えているか。

事務局) 検討している。

5 報告事項

○「志木の田子山富士塚」保存活用計画策定委員会の進捗について

○中宗岡の御嶽塚 案内看板設置報告

○令和6年度文化財看板修正の協力依頼「城山貝塚」「柏の城大堀跡」

6 閉 会